

公益社団法人日本技術士会鹿児島県支部

第32回CPD講演会（九州本部CPD・建設系CPD登録済）

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| (1) 13:30~15:00 (A2) | 九州本部 2202192801A02 |
| 「トンビの視た九州の大地とヒトの活動」 | |
| 岩尾雄四郎（佐賀大学名誉教授・技術士（応用理学）博士（理学）） | |
| (2) 15:15~16:45 (A11) | 九州本部 2202192802A11 |
| 「建築とは何か—その存在意義と史的原型を探る」 | |
| 堀口讓司（第一工科大学建築デザイン学科教授） | |

日 時：2022年2月19日（土） 13:30~16:45（途中休憩15分）

会 場：かごしま県民交流センター大研修室2（3F）

鹿児島市山下町14-50

会 費：日本技術士会会員 1,000円（会員番号を記載のこと）

非会員 1,500円

大学・高専課程在学学生（若干名） 無料「要学生証提示」

CPD単位：3単位

定 員：50名（先着順）

（重要）COVID-19の感染状況によっては、中止する場合があります。

【参加者条件】

- ①事前予約者のみ参加できます。
- ②講演中は必ずマスクを着用してください。

申し込み締め切り 2月11日（金）12時

*申込定員に達した時点で募集を締め切ります。

*参加確定者には、2月13日（土）に参加案内及び注意事項をメール配信

（次回予告）第33回（2022年5月度）CPD講演会

日時：2022年5月15日（日）13:30~16:45

場所：かごしま県民交流センター大研修室2（3F）

第32回（2022年2月度）CPD講演会申込み先

（事務局：申込みはメールのみです。）

Mail：y-iuchi@ymt.bbiq.jp（鹿児島県支部事務局）

★2022年2月度CPD講演会 参加申込み記載事項（必須事項）★

- 1 参加者区分：会員（日本技術士会会員番号を記載）、非会員、学生
*会員番号未記載の場合、非会員扱いとします。
- 2 氏名 及び ふりがな
- 3 会社名（TEL）、又は学校名（学年）
- 4 技術士の方は登録部門
- 5 メールアドレス（参加案内及び緊急連絡用）

講演概要

■講演 演（1）

講演タイトル：「トンビの視た九州の大地とヒトの活動」

講師：岩尾雄四郎（佐賀大学名誉教授・技術士（応用理学）博士（理学））

講演概要：

ユーラシアプレート上にある九州はフィリピン海プレートが東から押し寄せ、付加が骨組みになっている。中央構造線の延長があり、火山も多い。この地質構造は地形に反映しており、巧みな土地利用を編み出している。

小型飛行機を操縦しながら地質屋の眼で九州を撮影した大量の写真を講演素材にしている。高度 1000～3000mで俯瞰した写真は地質構造を明瞭に映し出している。まず地形地質別に写真を分類提示し、トンビの眼で紹介する。次に地下水や地熱の恵み、河川の利用、自然災害の出現、社会インフラ施設の設置を通じて人間の生き方を考察する。トンビの眼で九州を眺めることは、地形地質を見る新しい視点を生み出す事を期待している。

キーワード

九州、地質構造、地形、地盤災害、自然の営み、土地利用

■講演 演（2）

講演タイトル：「建築とは何か—その存在意義と史的原型を探る」

講師：堀口讓司（第一工科大学教授）

講演概要：

建築とは、人間を外界から守る単なるシェルターではなく、風土的な、地理的な、歴史的な、宗教的な、様々な文脈と密接に結びついた「文化」の総体であり、同時に個人・民族・人類の「記憶」の総体でもある。

本講演ではそうした観点より、初めに建築の歴史を始原から近代に至るまで概観する。特に現代の建築に多大な影響を及ぼした「近代建築」の成立と発展に関しては、その時代背景を踏まえて詳述する。

そのうえで、人間の本能に訴求し感応する、琴線に触れる建築空間とは何かを考察する。ル・コルビュジェは近代建築を代表する建築家であるが、彼の言葉である「建築には『何々様式』といったものは何の関係なく、建築の最も厳粛な使命は、その客観性を通じて本能の一番もとに触れることである。」をヒントに、氷河期の洞窟に遺された 32 の記号とコルビュジェの建築との類似性を探り、人類の 18 万年前から現代までの膨大な無意識の記憶—元型—が、我々の琴線に触れ感動と喜びを与えることを解き明かす。

キーワード

地母神、メンヒル、近代建築、洞窟の記号、元型、人間の本能、無意識の記憶